

GAPを、もっと身近な農場改善の仕組みに。 GAPは、安全・安心だけじゃない。

農場の内と外をつなぐ「コミュニケーションツール」という新しい捉え方

『人が育ち、経営がラクになる農業の仕組み 知識ゼロからのGAP入門』9月25日発売

GAP・ITサポート合同会社は、GAPの考え方と農場で実践するための具体的な手順を、初めての人にもわかるよう一冊にまとめた『知識ゼロからのGAP入門』を、2026年9月25日、家の光協会より刊行します。



本書が伝える「GAP」の新しい捉え方

農場の中だけで完結しない。GAPは、人と人をつなぐ「共通言語」になる。

農場には、仕事のやり方、判断基準、圃場や施設、資材、人、取引先など、多くの情報があります。GAPによってそれらを整理し「見える化」することで、経営者と従業員、従業員同士で情報を共有しやすくなります。

見えるようになった情報は、指導員への相談、行政やJAとの連携、取引先への説明など、農場の外とのコミュニケーションにも活用できます。本書では、GAPを「農場の内と外をつなぎ、より良い農場経営につなげる仕組み」として紹介します。

本書の3つの特徴

- 1 GAPを「農場で何をするか」に落とし込む**
「農場を定義する」「農場運営の土台をつくる」「農場の資源を管理する」と、実際に取り組む順番に沿って解説。
- 2 農場の情報を「見える化」し、共有できる形にする**
経営者やベテランの頭の中にある経験や判断基準を整理し、誰もが理解できるルールや記録に変える。
- 3 自分の農場で、すぐに始められる**
帳票のサンプルも活用し、自分の農場を振り返り、できるところから改善を始められる構成。

この本を通じて「GAPする」農場を増やしたい

GAPを特別なもの、難しいものとして遠ざけるのではなく、もっと身近な農場改善の仕組みとして活用してほしい。この本をきっかけに、全国に「GAPする」農場を増やしたい。それが本書に込めた思いです。

著者紹介

佐久間 輝仁（さくま・てるひと）

GAP・ITサポート合同会社代表。JGAP公認講師・審査員。2020年以降、全国でGAP研修331回、4,300人以上が受講。農場指導・審査にも携わる。2021年、農林水産省「これから始めるGAP」オンライン学習ツールを監修。2025年、農林水産省「国際水準GAPガイドライン指導マニュアル改訂のための有識者検討会」委員。

書籍情報・お問い合わせ

A5判・208頁／1,700円＋税／家の光協会

GAP・ITサポート合同会社
Mail: kensyu@gapit.jp
Web: <https://gapit.jp>